

〔二〇一七年度卒業論文題目〕

稲垣佑章 佐久島の横穴式石室について―三河地域との比較―

坂本光熙 伊勢地域における横穴式木室の考察―昼河古墳群と南山古墳を中心に―

女子埴輪の袈裟状衣表現に関する考察

竹本 楓 飛鳥・奈良時代金堂の平面形式

坪井汐梨 付喪神が描かれた社会背景―北野天満宮の関係から―

大久保幸 中世武士の死生観と出家―補陀落渡海を中心に―

影山由佳 兼右による吉田神道の拡大―『兼右卿記』を中心に―

田中冨佳 元正天皇美濃行幸の意義と目的

谷口綾菜 藤原道長の神事における改革―大嘗会・春日祭・賀茂祭の事例から―

永澤果林 一五、六世紀における関氏の動向

藤本貴大 江戸時代の鷹場における動物保護と駆除・殺生―伊勢国一円紀州藩鷹場を事例に―

飯場大輔 近世後期の山村における家族と女性―紀州藩領野地村の

倉田育実 出稼ぎ・行方不明から―

島 一穂 入会地の近代化と存続過程―三重県員弁郡治田郷の山地

安田伊織 利用を事例に―

丸亀藩領農村における水利争論の特質―「毘沙門出水争

山本麻衣 論」の分析から―

〔二〇一七年度修士論文題目〕

石原 唯 古代寺院の基壇外装

閻 文慧 日中神話における女性像の比較研究

〔編集後記〕

今年も卒業生を送り出す季節がやってきました。忍者研究に携わるようになってから、特に時間の経つのがはやく感じられ、さまざまなことに忙殺されています。

二月一七日には国際忍者学会をたちあげ、伊賀で大会を開催しましたが、これまでは学会に参加したり発表したりすることはあっても、運営に関わることはなかったもので、その大変さをつくづく感じました。しかし、忍者研究をしていなければ知り合うことはなかった多くの方々と知り合うことができたのは大変嬉しいことです。

怨霊研究という日本史の分野では変わった研究をしているのだから、忍者の研究も大丈夫だろうと、内田前学長に言われたのですが、おかげさまで何とか形になります。皆さんもどうぞ新たなことに挑戦し続けてください。

(山田)

三重大史学 第一八号

二〇一八年三月三日発行

編集・発行 三重大学人文学部考古学・日本史・東洋史研究室

〒五一四一八五〇七

三重県津市栗真町屋町一五七七

TEL: 〇五九一三三二一三二一 (代表)

FAX: 〇五九一三三二一九一九九 (共同)

MAIL (山田雄司): yyamada@human.mie-u.ac.jp

印刷 伊藤印刷株式会社 (津市大門三三一一三)